

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス キッズアカデミーころん昭和校

対象人数（保護者）47人 回答者数 24人 回収 51.1%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24			
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	7	1	2
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3	1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		1
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	24			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			
	⑩	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7		10	7
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1		
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	4	3
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	7	11
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		1
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	3
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1

非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	4		5
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		14
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2		2
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		2
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	4		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	23	1		

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室でのマンツーマン療育のため、スタッフ名で複数児童を療育することはありません。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマン療育かつ、児童の特性に合わせて相性が良いスタッフを配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	療育を受けるそれぞれの部屋は配慮していますが、4F建てでエレベーター無しという部分は、身体的には配慮ができていません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		1時間毎の療育が終わるたびに換気・消毒をしていることと、「使ったものは元に戻す」と指導しており、部屋を使用する時には綺麗な状態になっています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集団で共用する部屋ではなく、全て個室です。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		保護者を含めたフィードバックの内容を共有し、次回療育に対する改善を毎回実施しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見いただいた内容を迅速に反映しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職種間を問わず、直接対話およびオンライン面談によるプライバシー配慮など、個人の意見を言いやすい環境ならびに必要なことは即改善しています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人内の別事業所を含めてお互いの評価をしていますが、第三者は導入していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設外研修は積極的に参加して共有したり、施設内では個別の研修や動画共有などを実施しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		当社ホームページにて公開しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ABAでの分析をもとに、できるだけ専門用語を使用せず、誰が見てもわかりやすい計画書を作成しています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者モニタリングの内容を共有しており、児童と保護者のニーズを常に把握しています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は職員間で共有されており、毎回実施するプログラムに反映しています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		状況に応じてABC分析をし、より適切な行動を増やしていけるようにお子様の状況を踏まえて支援を行っています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		発達支援の5領域すべてに支援内容を設定し、その他の支援も含めて優先順位をつけて設定しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		メインの担当者だけでなく他スタッフの意見も取り入れてプログラムを作成しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用毎にプログラムを作成しており、前回の内容を踏まえて常に改善しています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育が前提ですが、保護者からの要望があれば他児童との合同療育も取り入れています。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼からスタートし、その日の状況を共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭だけでなく記録として残し、次回担当スタッフが誰になっても同じ目的の療育ができるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の療育内容を記録として残し、過去の内容も含めてわかりやすくしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長でも6ヶ月毎のモニタリングを実施し、すべて直接面談にて30分以上かけて聞き取りしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		1時間のプログラムの中にスケジュールを組んで実施しています。
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		常に複数の教材を用意し、自己選択にて何から実施するかを決めていただいています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者だけでなく、メインとして担当しているスタッフが対応しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域のクリニックと提携しているだけでなく、必要に応じて児童の主治医にも連絡をとるなど連携しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて学校を訪問し、授業中の様子を観察したり、療育の方針について情報共有しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者を通じて、文書での情報共有などをしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在該当者ありませんが、どの事業所とも情報共有できる用意はできています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修には積極的に参加し、必要な時には連絡をとって助言を受けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	専門性の高い個別療育のため、他者との交流は実施していません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会主催の研修会等には、積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用時間の終了前に保護者を含めたフィードバックにて毎回情報を共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者からのご要望があった際には、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約の機会にしっかり説明し、年度毎に基準が変更となった場合にはその都度説明して同意をいただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書に同意をいただく際に、支援の優先順位もご確認いただいた上で同意をいただいています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		提示した計画書に修正等があれば即変更し、納得いただいた上で同意をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からのご要望があった際には、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	○	共同での療育ではなく、全てマンツーマンによる療育であり、保護者同士の交流の場は主催していません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご意見があった場合は記録に残し、改善すべき部分は次回の利用までに必ず対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		専用のアプリにて情報共有しています。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類の管理だけでなく、他児童や保護者がいる前では氏名を呼ばず番号で話すなど、個人情報に十分に留意しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションボタンなどのツールや、専用の意思表現教材などを使用して、情報伝達ができるようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		専門性の高い完全個別療育であり、個人情報の兼ね合いもあり地域との交流はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		突発的な出来事にも対応できるような療育内容として計画書にも記載し、児童には事前告知無しで訓練を実施します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地域に合わせたBCPを策定し、非常災害に対する対策をしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、毎利用時のフィードバックにて確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に食事提供はしていませんが、状況把握しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		児童によっては部屋内の器具を撤去したり、危険予知を考慮した上で療育を実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、毎利用時のフィードバックにて情報共有しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		突発的に発生した出来事については、全ての出来事を記録に残して共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施していますが、過去事例ありません。